

都留の野ぼとけ (四)

# 不動明王

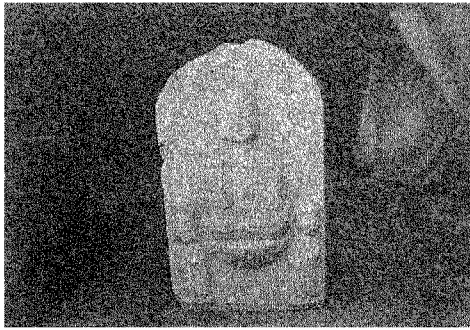
鈴木茂治

## 沖の四不動尊

「お不動さん」といえば、谷村町駅前前の竜石寺の「お不動さん祭り」が有名ですが、市内の野ぼとけのお不動さんとなると案外少なく、今のところ八基ほどしか確認されています。お不動さんの正しい呼び名は「不動明王」です。

市内八基の不動尊のうち、半数の四基は鹿留の沖地区に残っています。それは、この地区が古くから、霊山御正体山への登拝口だったことによるものと思われます。

不動明王は、世の悪魔を懲らしめ煩惱を砕くという、いわば『五代明王』チームのキャプテンのような偉大な明王で、力強い怒りの表情を浮かべ、右手に剣、左手に羅索(五色の糸で作った縄)を持ち、石の台座の上に火焰を背負って立ちあはだかり、仏さまをお守りし、人間たちをも救ってくださるといわれています。



鹿留 門原・不動三尊像

市内八不動のうち、ひとつだけ尊像碑でない文字碑があります。

## 滝下不動尊

写真の門原の『不動三尊像』は、「セイタカ童子・コンガラ童子」の協侍を従えた珍しいもので、不動さんも童子も、とても優しいお顔をしていらっしやいます。



田原・滝下不動尊

それは、写真の田原の滝下にある石碑です。皆さんも一度は不思議に思われたことがあるでしょう。字のような絵のような意味がわからない碑だけれど、滝下不動尊の前にあるので、これも野ぼとけの不動さまだらうと思われるかもしれません。あの不思議な模様のようなものは、不動明王を表す「カンマン」という梵字(インドの古代語の文字)だといわれていたからです。

ところが今から十数年前、以前滝下不動尊の住持をなさっていた下天の安藤千鶴子さんが「あれは祖先から般若菩薩といわれてきた」と話されたことをもとに、城北の窪田薫先生が研究された結果、あの梵字は「ジャニャー」と読んで、『般若波羅蜜菩薩』を示すものであることがわかりました。

この塔を建てた安政五年(一八五八)は、谷村を中心にコレラが大流行したので、その供養のためこの塔が造られたのだそうです。

## 第3回ふるさと探検隊



第3回は、東桂地区を対象に、『都留市の水』について考える探検を企画しています。

紀ノ国屋(豆腐工場)見学、おいしがね、養魚場、ホタル生息地、湯ノ沢(沢がに採取)などの場所を探索します。

日時 7月8日 午前9時集合

集合場所 東桂小学校

持ち物 弁当、筆記用具(沢がにを採取しますので、靴下、運動靴等の予備をお持ちください。)

※電話で申し込んでください。

申込・問合せ先 ふるさと探検隊実行委員会  
長田 昇 ☎(43)4361

## うらやま観察会 ホタルの観察

皆さんはホタルを見たことがありますか。ホタルはきれいな水域にしか住まない昆虫です。まだ都留市にはこの美しい昆虫の住む場所がいくつかあり、今回はその中で十日市場、小形山、宝の三地区での観察会を開催します。ホタルの飛び時期を待つために、まだ日程は未定ですが、中旬くらいの日になると思います。詳しくは小中学校に配布される資料をご覧ください。

申込先 社会教育課文化振興係

☎(43)1323  
FAX(43)1322

## いじめ防止 特別教育相談

市教育委員会では、深刻化する「いじめ」防止対策として、教育研修センターに特別教育相談室を今月から開設します。

日時 月曜日・木曜日  
午前9時～午後4時30分  
場所 文化会館1階

※相談・情報の秘密は厳守します。なお、電話による相談にも応じます。